

8 各館事業実施報告

■ 中央図書館

1 連携事業

- ・ 5月 節句絵のぼり展を開催し、あわせてギャラリートークを行いました。
- ・ 5月 市内古書店等と本を介した地域連携による催し「ブックカーニバル in カマクラ」に協力し、関連図書を貸出しました。
- ・ 5月 「ブックカーニバル in カマクラ」の協力により、展示「酩酊先生、街を闊歩す」を行いました。
- ・ 7～2月 基金を活用して、「相模国鎌倉郡神社仏閣彩色境内図」27図のデジタル化及び修復を行いました。
- ・ 10～11月 市制80周年及び青山学院大学、二松学舎大学との包括連携協定締結を記念して、鎌倉仙覚文庫を設置し、記念展示を行いました。
- ・ 11月 「がん情報ギフト」の協力で、がん情報コーナーを設置しました。
- ・ 11月 鎌倉文学館と、講座「オリンピックと文学者」の見どころ解説講座と関連展示を行いました。
- ・ 12月 川喜多映画記念館と、講座・川喜多アワー「多彩な文藝映画の世界～日本近代文学の一断面～」の見どころ解説講座と関連展示を行いました。
- ・ 1月 鎌倉市植木在住の劇画師植木金矢氏の追悼展示を行いました。

2 図書館利用に障害のある方へのサービス

- ・ 4月 視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）に加入し、他の施設所蔵の録音図書DAISYの借受けと貸出しができるようになりました。

3 近代史資料担当事業

- ・ 4月 『近代史資料室だより 第5号』を発行しました。
- ・ 7月 近代史資料書庫を設置し、約100のコレクションを排架しました。
- ・ 3月 近代史資料コレクション一覧をホームページに掲載しました。

4 そのほか

(システム更新と新型コロナ関連は全館対応なので記載しません)

■ 腰越図書館

1 長期休みに合わせたイベント開催

- ・夏休みに合わせ、腰越行政センターの協力を得て、支所中庭での野外おはなし会を行いました。
- ・冬休みに合わせ、クリスマス特別おはなし会と、本の福袋づくりを実施しました。制作された福袋は、年始に利用者に向け貸し出しされました。

2 腰越読書会の開催

- ・読書会を4回行いました。

3 館内整理と安全な環境づくり

- ・館内の整理整頓を進め、快適な環境づくりに努めました。
- ・書架最上段にあった重い全集を下ろして配架し直し、地震の際の安全向上を図りました。

■ 深沢図書館

- 1 湘南ベルマーレと協力し「図書館DEキックオフ」イベント開催（スポーツ課と連携）
 - ・鎌倉市がホストタウンとなったことを記念して、閉館後に「図書館DEキックオフ」を開催しました。ルヴァンカップのお披露目やキングベルとのふれあいタイム・関連本貸出タイムがありました。
- 2 7月に深沢図書館初となる読書会を開催
 - ・鎌倉文学館で特別展三島由紀夫「豊饒の海」のススメがおこなわれているのにあわせ、読書会を行いました。
- 3 8月、夏の特別おはなし会、こわいおはなし会+きもだめし
 - ・季節ごとの特別おはなし会で、こわいおはなし会のあと、児童コーナーできもだめしを実施しました。40名をこえる参加者が集まり、こわいひとときを楽しみました。
- 4 9月、地域の緑地で小学生とフィールドワークと虫調べ、高校生とウィキペディア執筆
 - ・「鳴く虫プロジェクト」として、9月に山崎の中央公園で小学生とフィールドワークを行いました。その後、調べたことを発信する形で、Wikipediaの虫の音の項目を高校生とともに執筆、発信しました。
- 5 湘南ベルマーレシーズンオフに選手へ好きな本のアンケート
 - ・湘南ベルマーレとココラボ企画第2弾として、シーズンオフに選手へ好きな本のアンケートを行い、図書館だよりで発信しました。
- 6 深沢学の棚づくり
 - ・蔵書点検時に、郷土資料の棚を見直し、深沢学でとりあげた資料を常設展示を設置しました。
- 7 地域の今昔写真の発表講演会
 - ・ファンタスティック☆ライブラリー108の行事の一環で、地域の今昔写真を展示しました。同時に近代史資料室による今昔写真発表会開催、深沢地区の今昔に思いを馳せました。
- 8 11月、図書館でゲーム
 - ・ファンタスティック☆ライブラリー108の行事の一環で、ゲームを行い「鎌倉コレクション」のゲームクリエイターと大人と子どもと一緒に楽しみ、展示した鎌倉を知る本が多数借りられました。
- 9 東京オリンピック・パラリンピック担当、文化人権課で
フランス月間、展示&おはなし会を企画
 - ・2月のフランス月間において、展示を行いました。フランス語のおはなし会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。
- 10 子ども読書活動支援センター機能
 - ・子ども読書活動支援センター事務局として、2回の「鎌倉市子ども読書活動推進に関する連絡会議」子どもに関わる市内施設へアンケート調査を行うなど、計画の推進を図りました。
 - ・学校貸出の拠点として、学校支援を行いました（詳細はp55～）。年間350件程度の利用があり、月に2回、各回貸出15箱前後の学校搬送を実施しています。
- 11 おはなしボランティア活動支援
 - ・地域で読み聞かせなどの子どもの読書支援に関わる方との情報交換の場として、「第11回本の海サポーターズ交流会」を6月21日に開催しました。
 - ・図書館員による年齢別向けにおすすめの本のブックトークと、おはなしボランティアとして活動している方のステップアップ講座を2月14日に開催しました。
- 12 がん情報コーナー
 - ・蔵書点検時に、国立がん研究センター寄贈資料により健康情報のコーナーをつくりました。がんの情報や、三大疾病を中心に配架しました。

■ 大船図書館

1 地域写真展「大船のむかし」

- ・春と秋の2回、大船地域の昭和の写真を展示しました。
これらの写真は、図書館の近代史資料担当が所蔵するもので、大船地域づくり会議の方のご協力を得て、展示しました。
2018年からの連携をさらに強化して、期間も長く開催することができ、多くの方によるこばれました。

2 展示に力をいれました。

- ・2018年のエレベーター工事に伴い創設した、正面入り口に設けた展示スペースを活用した展示に力をいれました。
- ・ツイッターでのPRも積極的に行いました。

3 館内整理

- ・児童コーナーの書架見出しを新しくし、館内の美化に努めました。
- ・児童コーナーの一部書架の上段をあけて配架し、地震等の安全面での配慮を行いました。

4 布おもちゃで遊ぼうなど行事の開催

- ・年に数回行っている手話つきおはなしかいの前に、「布おもちゃで遊ぼう！」という行事を開催しました。ここ数年、毎年行っている行事です。
図書館でいろいろな行事を行うことで、新たな来館者が訪れ、子どもにも保護者にも好評でした。



玉縄まつりの様子（次ページ詳細）

■ 玉縄図書館

1 玉縄まつりへの出展

- ・11月、玉縄地域最大のイベントである玉縄まつりに、昨年につき出展しました。寄贈本の譲渡（175冊）、昭和20～30年代の写真を展示、ブックリストの配布等を行い、図書館のPRに努めました。
- ・テントを設営し、スタンプラリーのポイントになったことから、多くの子どもたちがブースを訪れてくれました。今後も継続参加を目指します。

2 地域新聞『たまなわ新聞』での図書館紹介

- ・6月、取材を受け、玉縄図書館を紹介する記事が掲載されたことをきっかけに、夏休みのおすすめ本や行事などを、紙面で紹介していただきました。記事を見て行事に申し込まれる方も多く、地域メディアの力を実感しました。
- ・『たまなわ新聞』は、1996年の創刊号から玉縄図書館で閲覧できます。

3 憩い宿での出張図書館

- ・8月、「憩い宿」の夏休みこどもお楽しみ会にあわせて、今年度も図書館から出向き、おはなし会と子どもの本の貸出を行いました。
- ・憩い宿は、城宿という地域のコミュニティスペースです。図書館から離れた場所に位置する地域の皆さんに図書館がどのようなサービスができるか、考えながら今後も続けていきたいと思えます。

4 暮らしのお役立ち講座@としょかん

- ・2月、神奈川県行政書士会とのコラボ企画「大きく変わる遺言と相続の決まり」を開催しました。民法の大改正に合わせたタイムリーな企画で、大盛況でした。

5 館内の整備

- ・図書館入り口にある、ブラウジングコーナーのレイアウト変更を行い、明るく入りやすい雰囲気になるよう改善しました。
- ・やさしい日本語で書いた利用案内を掲示するなど、表示・掲示を改善しました。